

「運輸部輸送課指令室への秋田駅信号業務の集約について」提案を受ける！

8月22日会社より「運輸部輸送課指令室への秋田駅信号業務の集約について」提案を受けました。提案内容は以下の通りです。***施策について不明な点は秋田地本業務部まで問い合わせください！**

「変革2027」や「駅の変革」に基づき、信号業務を集約し、ノウハウの蓄積と効率的な運営体制を実現するため、以下のとおり運輸部輸送課指令室に秋田駅信号業務を集約する。

1. 集約業務及び箇所 ・秋田駅信号業務を運輸部輸送課指令室に集約する。
2. 実施時期 ・2020年3月23日(月)
3. 要員体制

箇所名	関係職		記事
秋田駅	助役	12	*変形7H-1形×8、交代L2形×2を、 *変形7H-1形×8、交代L2形とする。
	輸送	—	交代L3形×5を廃止する。

全体で△21

4. その他 ・規定等の改正を行う。関係する社員に必要な教育をおこなう。

組合

会社

提案交渉での議論内容

- ノウハウの蓄積と効率的な運営体制とは？
- 新入社員でも操車業務を担うことがあるのか？
- 信号業務を輸送指令へ集約するにあたり、これまであった課題が解決できたということか？
- 弘前、大館など輸送業務の集約についても考えていることはあるか？
- 設備的な変化、変更点については？また輸送指令で秋田駅構内も制御できるということか？
- 乗務員の取扱いで変更になることはあるか？
- 異常時で着発線変更など輸送本部がタイムリーに駅や乗務員へ情報提供していた。連絡体制にロスが発生するのではないか。
- 秋田駅輸送職が廃止となれば、その業務量が輸送指令へ異動となるのか？
- 業務を効率的にとは？輸送指令の要員体制はどの様になるのか？
- 工事・教育等のスケジュールについては？
- 実施時期を2020年3月23日とした根拠は？

- 改札担務に操車業務を込み運用し、操車業務ノウハウを蓄積する。
- 担うこともあるが、しっかり教育したうえでおこなう。
- 課題ということだけでなく、予算や体制が組めるか等を勘案し「変革2027」「駅の変革」に基づき集約するとなった。
- 将来的には可能性あるが、いま示せるような明確なものはない。秋田駅は「運転取り扱い駅」から「準運転取り扱い駅」となる。
- 輸送本部と同様の制御盤を輸送指令内に置く。指令室内で秋田駅構内も制御できるようになる。輸送本部母屋については、老朽化もあり今後検討していくが母屋から人はいなくなる。
- 入換発動など秋田駅長への無線が輸送指令となる。通告券は駅でもできると考えている。
- 鉄電や、テレスピなども使いながら指令から連絡するイメージ。課題があれば検討していく。
- 駅の見直される要員体制が上限分ではあるが、業務を効率的に見直し必要な要員を配置していく。
- 夜間など列車の少ない時間に人をどのように配置するのか、これまでの「指令-輸送本部」のさまざまな打ち合わせが、同フロア内で行えることになる。また秋田駅構内の制御盤操作など初めての方がいきなりやるとはならない。必要な要員を見ていき責任を持ち配置する。
- 指令室内の配電盤設備は12月を目途。切り替えのテスト等もおこないながら進めていく。教育については駅の改札業務など営業についても教育していくことになるので、提案交渉終了後から進めていく。施策実施日にスムーズに移行できるようにしていく。
- 予算がつき、年度内の予算となること。工事期間、メーカーとのスケジュール、機器の試験等を検討し決定した。